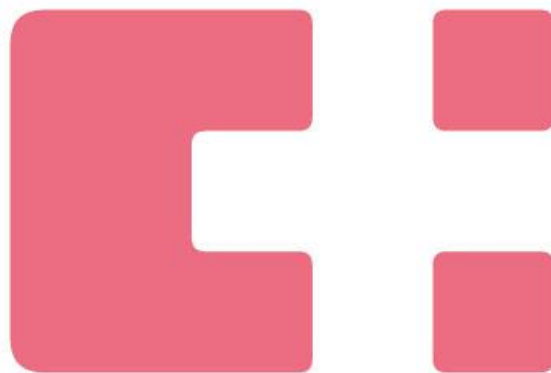


2021年3月期 第2四半期 決算説明会



ココカラファイン

ココロ、カラダ、ゲンキ。

2020年11月25日
証券コード:3098

Top Message

3

2021年3月期上期 決算概況
マツモトキヨシホールディングスとの取り組み
ドラッグストア事業の方向性
調剤事業の方向性

2021年3月期 上期決算概要

10

業績ハイライト
計画対比 (P/L)
前年同期比 (P/L)
ドラッグ既存店 売上高伸長率推移
調剤既存店 売上高伸長率推移
商品分類別売上構成
売上総利益推移
販売管理費推移
連結貸借対照表
連結キャッシュフロー計算書

重点施策

24

ITを活用した顧客戦略
調剤事業におけるITの活用

2021年3月期 見通し

28

出退店実績・計画
設備投資 実績・通期計画
2021年3月期 修正計画のポイント
連結業績の修正計画 (前期比)、(期初計画比)
剰余金の配当

IRコンタクト

36

Top Message

- ・ 2021年3月期上期 決算概況
- ・ マツモトキヨシホールディングスとの取り組み
- ・ ドラッグストア事業の方向性
- ・ 調剤事業の方向性

①ドラッグストア事業

環境

- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響
→ 訪日外国人減少によるインバウンド関連需要の急減
新しい生活様式により、家庭内で消費する日用品や
衛生品は好調だったものの 化粧品カテゴリーは苦戦
- ・前年の消費増税前特需の反動減

■ 子会社CFIZによる14店舗を含む21店舗の出店、21店舗の退店

■ 「ECで購入した商品の店舗受け取りサービス」の対象店舗拡大

結果 → 売上高 前年同期比 91.4%

②調剤事業

環境

- ・新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制
→ 処方せん枚数減少、処方期間の長期化
- ・薬価・診療報酬改定

■ M&Aや調剤併設化による規模拡大で13店舗純増

■ オンライン服薬指導への対応

結果 → 売上高 前年同期比 103.2%

③販売管理費

■ 人件費コントロール

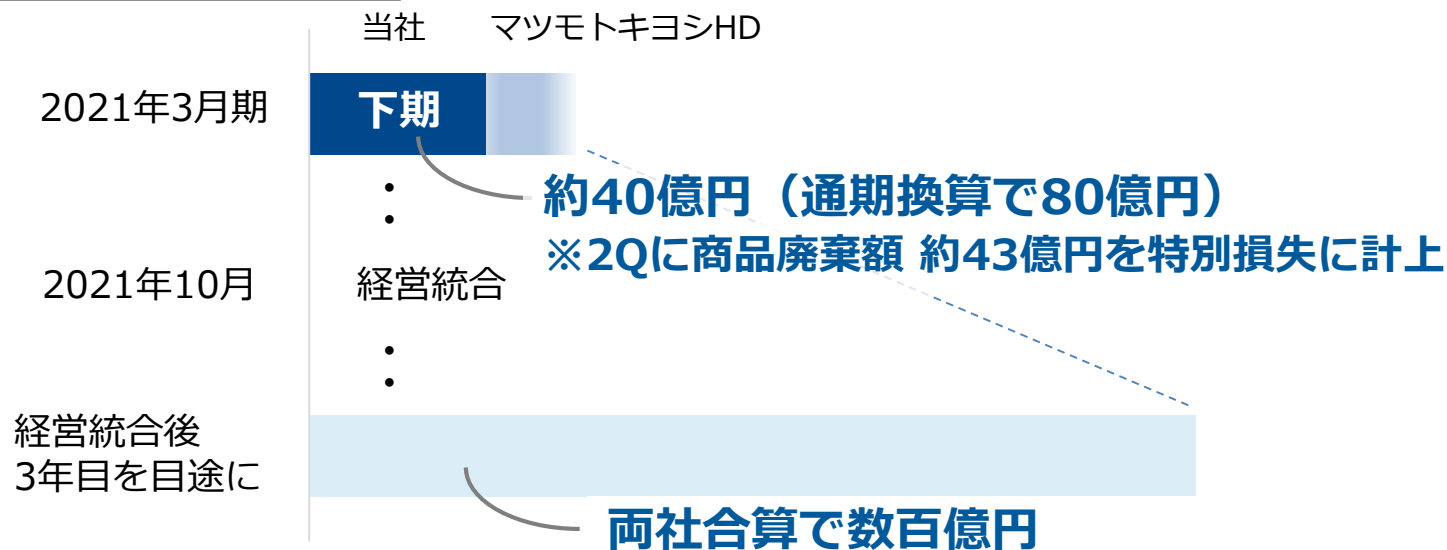
■ 販促費の圧縮など

結果 → 販売管理費 前年同期比 97.7%

資本業務提携によるシナジー効果の早期実現



収益改善イメージ



マツモトキヨシホールディングスとのシナジー効果の早期実現

MD（マーチャндаイジング）統一

- ・ 棚割りの統一

店舗における棚替え実施（2020年10月～11月）

- ・ PB商品の相互供給・共同開発

2021年3月期上期（2020年9月時点）

PB商品：1,200SKU

PB比率：7.8%

2021年3月期下期目標

→ PB商品：1,600SKU

PB比率：10.0%超

- ・ 共通販促



先行発売等の共通企画

2020年10月10日～

ヘアケアシリーズ Diane Be True (ダイアン ビー トゥルー)

CFIZによる新規出店、既存店舗のスクラップ&ビルド推進

	出店	退店
上期	21 うちCFIZ 14	21

→

	出店	退店
下期計画	30 うちCFIZ 9	8

2021年3月期末 ドラッグストア店舗数
1,167

マツモトキヨシホールディングスとの シナジー効果の早期実現

医薬品・調剤機器の
共同調達など

専門性の高い薬局づくり

敷地内薬局の展開

2018/4 和泉市立総合医療センター店 開局
2019/3 大阪国際がんセンター店 開局

今後の開局予定

2021/4 白十字病院 (福岡)
2021/6 十善会病院 (長崎)
2021/9 太田市立病院 (島根)
2022/3 安佐市民病院 (広島)



地域密着型のかかりつけ薬局づくり

健康サポート薬局の展開

2019年3月末

26店舗

2020年9月末

56店舗

2021年3月末目標

75店舗

2022年目標

100店舗

出店やM&A活用によるドミナント深耕 ヘルスケアネットワークの構築

11月12日 フタツカホールディングスの株式取得によるグループ化

地域への貢献を志す
経営理念・経営方針が合致

幅広いヘルスケア分野での
事業連携・多職種連携

テクノロジーを活用した
次世代薬局づくり



人と人のつながりを通じ、
暮らしのゆたかさを願い、
ニーズに添った価値を創造します



人々のココロとカラダの健康を
追求し、地域社会に貢献する

フタツカホールディングス概要

売上規模：119億円
店舗数：70店舗
(内、調剤薬局69店舗)

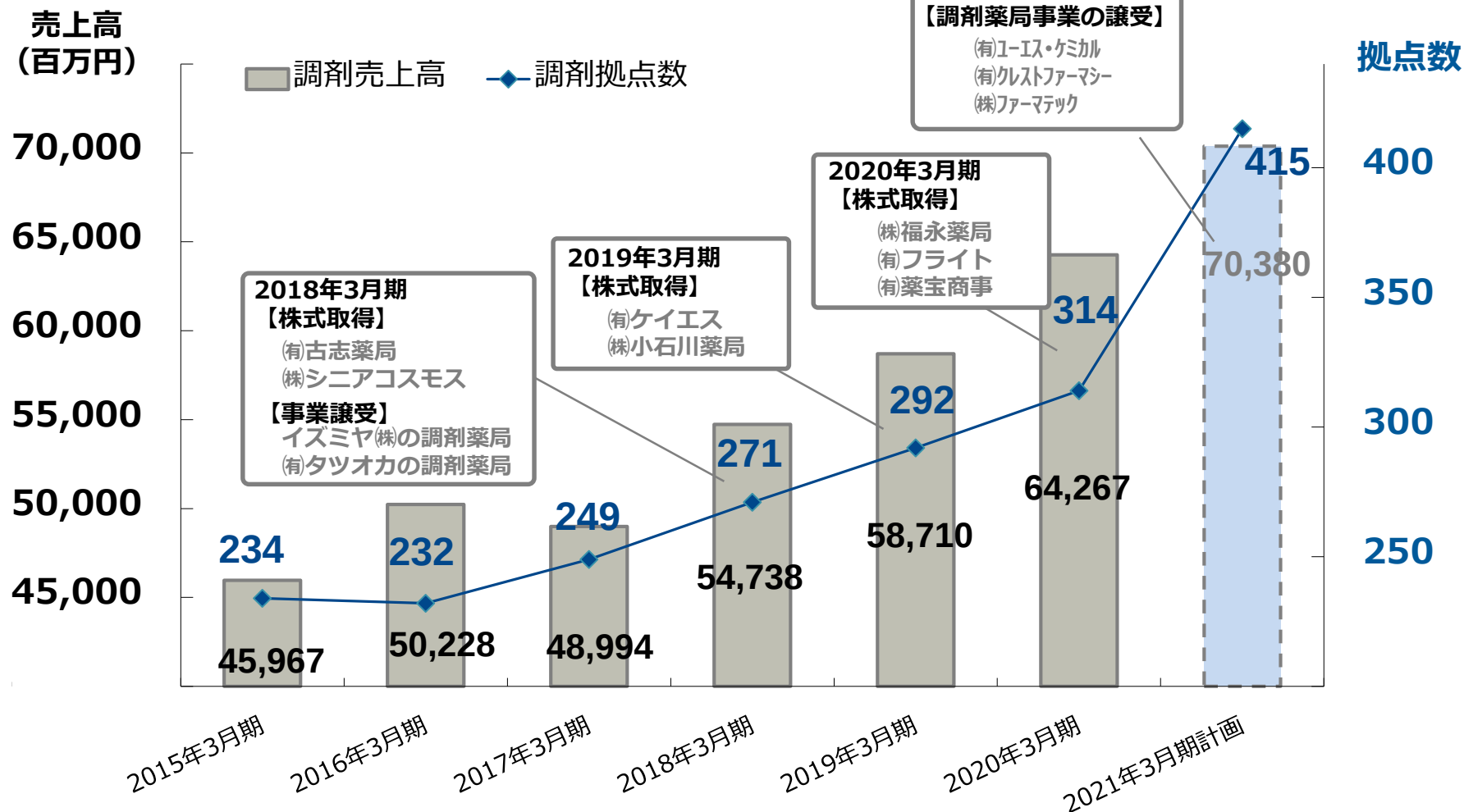
フタツカホールディングス店舗網

	調剤薬局	ドラッグストア
兵庫県	52	
大阪府	10	
京都府	5	1
和歌山県	1	
滋賀県	1	
合計	69	1

(参考) ココカラファイン&CFIZ 店舗網

	調剤取扱	ドラッグストアを含めた総店舗数
兵庫県	17	102
大阪府	49	194
京都府	15	48
和歌山県	2	27
滋賀県	1	6
合計	84	377

調剤売上高と調剤拠点数の推移



2021年3月期 上期決算概要

売上高

売上高 191,889百万円

前年同期比 92.2% 期初計画比 99.6%

- ▶ **ドラッグストア既存店売上伸長率** 期初計画 -9.1% → 実績 -8.7%
 - ・ 新型コロナ影響
 - ・ マスク・消毒薬等の特需、インバウンドを含む都市型店舗の売上減
 - ・ 前年の消費税増税前特需の反動減
- ▶ **調剤既存店売上伸長率** 期初計画 -2.3% → 実績 -1.2%
 - ・ 処方せん枚数減(-12.3%)・処方せん単価増(+12.6%)
 - ・ 薬価・診療報酬改定の影響
- ▶ **店舗数：9店舗純増（出店32・退店23）、スクラップ&ビルド推進**
 - ・ 子会社(株)CFIZによる出店は14店舗
 - ・ 調剤取扱店舗は、M&Aや調剤併設化による規模拡大で13店舗純増

売上総利益

売上粗利益 53,705百万円

前年同期比 95.5% 期初計画比 99.5%

- ▶ **ドラッグストア事業**
売上総利益率は、前期比0.5ポイント改善し計画ベースに乗せる
(前期実績27.9%→期初計画28.5%→実績28.4%)
 - ・ 商品・販促の標準化推進、コロナ影響によるミックス悪化・販促コントロール
- ▶ **調剤事業**
規模拡大施策により、売上総利益額は前期比104.2%

経常利益

経常利益 6,583百万円
前年同期比 81.8% 期初計画比 205.7%

▶販売管理費で期初計画比37億円の圧縮

(前期実績 493億円→期初計画 519億円→実績 482億円)

- ・店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化
- ・コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール
- ・改装投資のコントロール

親会社株主に帰属する 四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益 1,121百万円
前年同期比 22.4% 期初計画比 65.9%

▶特別損失

- ・MD統一に伴って生じる棚卸資産廃棄のうち、商品評価損 約43億円を計上

- ▶ 売上高・売上総利益率は期初計画の水準を維持、販管費は大幅圧縮
- ▶ MD統一に伴って生じる棚卸資産廃棄のうち、商品評価損約43億円を計上

（単位：百万円）

	2021年3月期 期初計画	2021年3月期 上期実績	期初計画 差異	期初計画 比（%）	
売上高	192,600 (100.0%)	191,889 (100.0%)	-711	99.6%	
ドラッグストア	142,711	142,301	-410	99.7%	▶ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 計画 -7.9% → 実績 -7.4% ▶ 出店：計画36店舗 → 実績32店舗 閉店：計画22店舗 → 実績23店舗
調剤	33,291	32,148	-1,143	96.6%	
卸売・介護	16,598	17,439	+841	105.1%	
売上総利益	54,000 (28.0%)	53,705 (28.0%)	-295	99.5%	▶ ドラッグストア売上総利益率は期初計画の水準維持 期初計画28.5% → 実績28.4%
販売管理費	51,900 (26.9%)	48,209 (25.1%)	-3,691	92.9%	▶ コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶ 改装投資のコントロール
営業利益	2,100 (1.1%)	5,495 (2.9%)	+3,395	261.7%	
経常利益	3,200 (1.7%)	6,583 (3.4%)	+3,383	205.7%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,700 (0.9%)	1,121 (0.6%)	-579	65.9%	▶ MD統一に伴って生じる棚卸資産廃棄のうち、 商品評価損約43億円を計上

▶ コロナ影響による大幅減収の中、売上総利益率は1.0ポイント改善

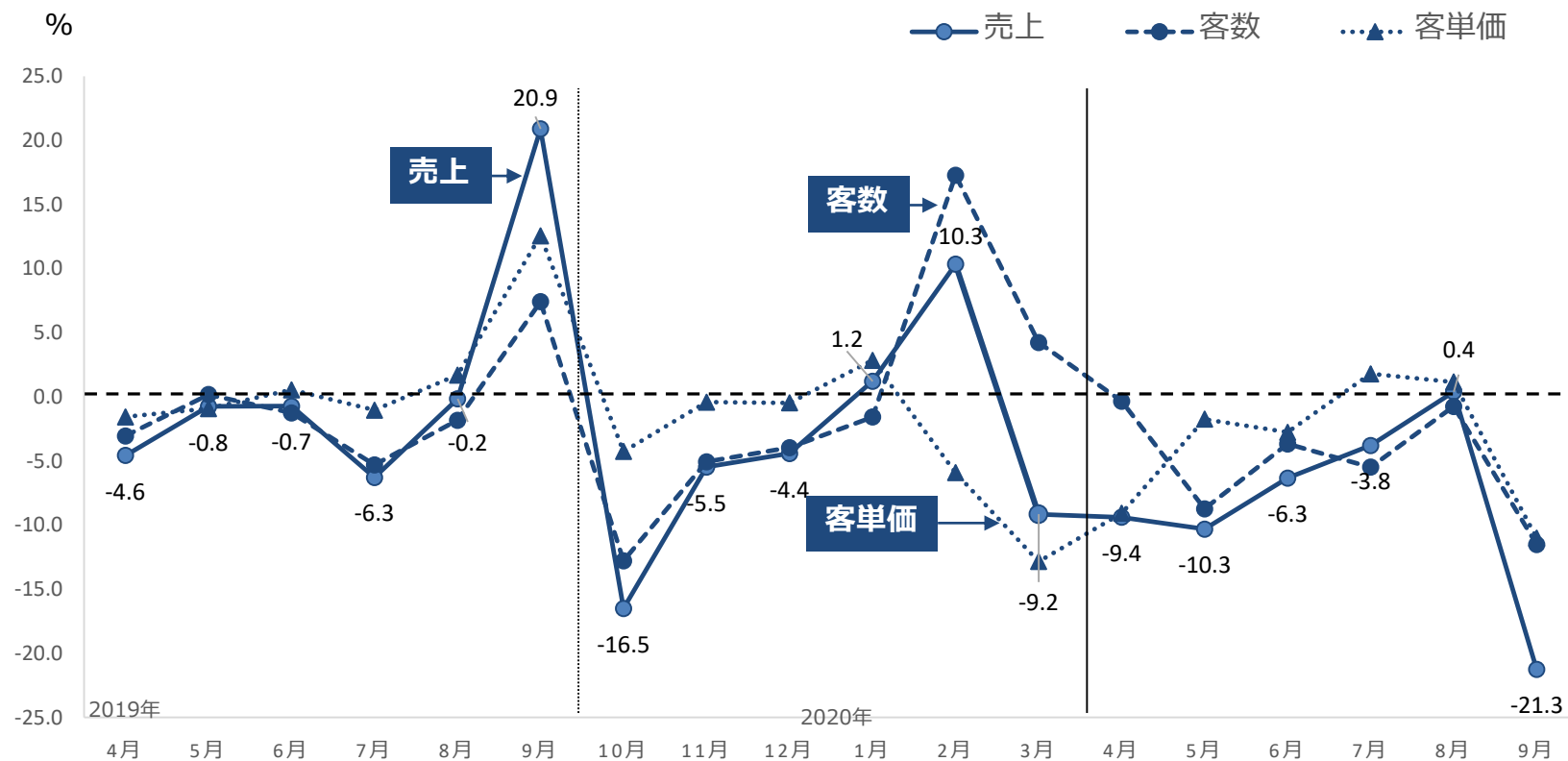
（単位：百万円）

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	増減額	前期比 (%)	
売上高	208,175 (100.0%)	191,889 (100.0%)	-16,286	92.2	▶ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 前期+2.0%→当期-7.4% ・マスク・消毒薬等の特需 ・インバウンドを含む都市型店舗の売上減 ・前期消費税増税前特需の反動減 ・薬価・診療報酬改定の影響 ▶出店：32店舗 閉店：23店舗 ▶取引先店舗数減少による卸売減
ドラッグストア	155,620	142,301	-13,319	91.4	
調剤	31,141	32,148	1,007	103.2	
卸売・介護	21,413	17,439	-3,975	81.4	
売上総利益	56,211 (27.0%)	53,705 (28.0%)	-2,506	95.5	▶ドラッグストア売上総利益率の改善 前期27.9% → 当期28.4% ・商品・販促の標準化推進 ・コロナ影響によるミックス悪化・販促コントロール
販売管理費	49,349 (23.7%)	48,209 (25.1%)	-1,140	97.7	▶店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化 ▶コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶改装投資のコントロール
営業利益	6,862 (3.3%)	5,495 (2.9%)	-1,367	80.1	
経常利益	8,048 (3.9%)	6,583 (3.4%)	-1,465	81.8	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,017 (2.4%)	1,121 (0.6%)	-3,896	22.4	▶MD統一に伴って生じる棚卸資産廃棄のうち、 商品評価損約43億円を計上

ドラッグストア事業 売上高

▶ 既存店（累計） 売上高 8.7%減 客数：5.1%減 客単価：3.8%減

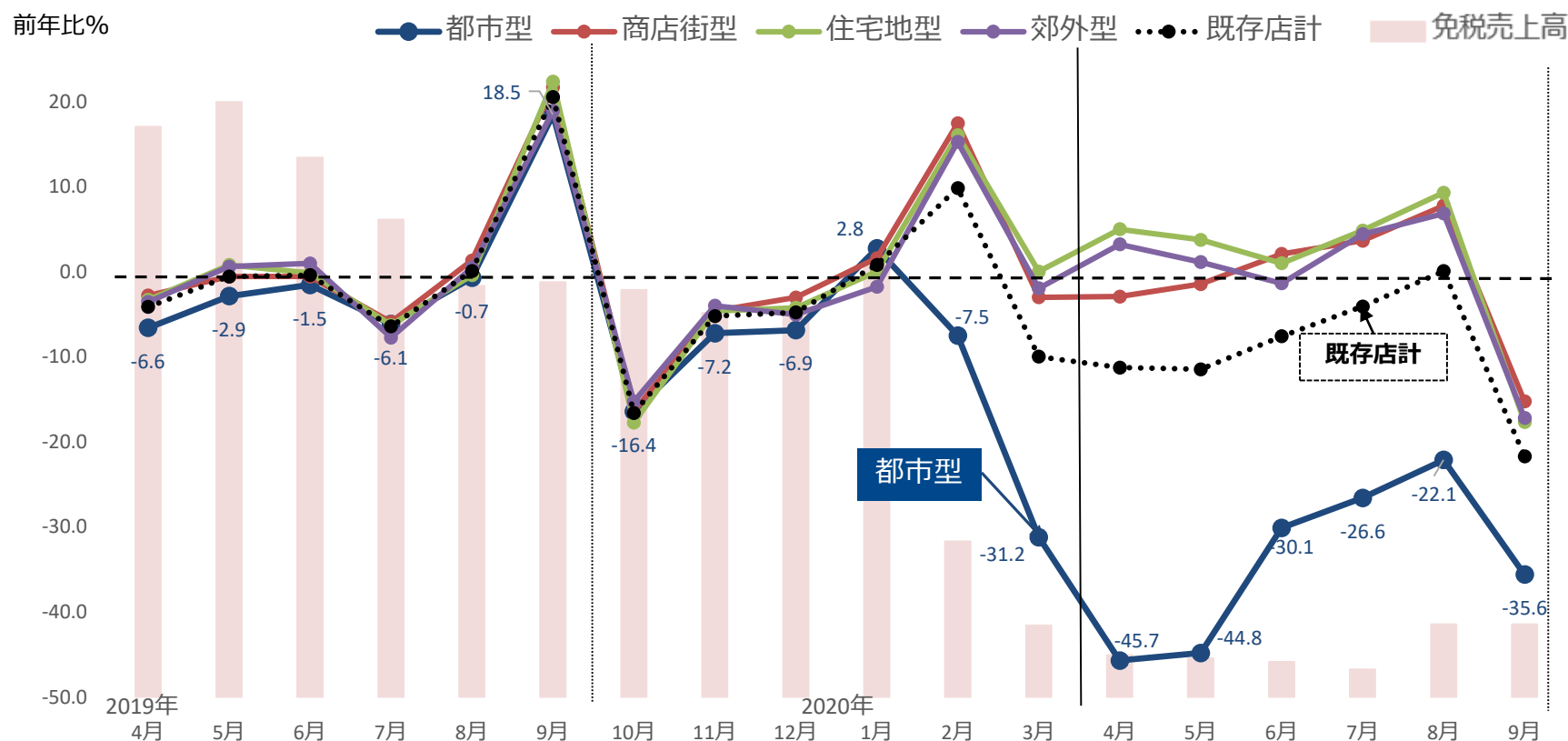
既存店 売上高伸長率推移



立地別前年対比と免税売上推移

▶コロナ影響により、インバウンドを含む都市型店舗は大幅売上減となり、徐々に回復

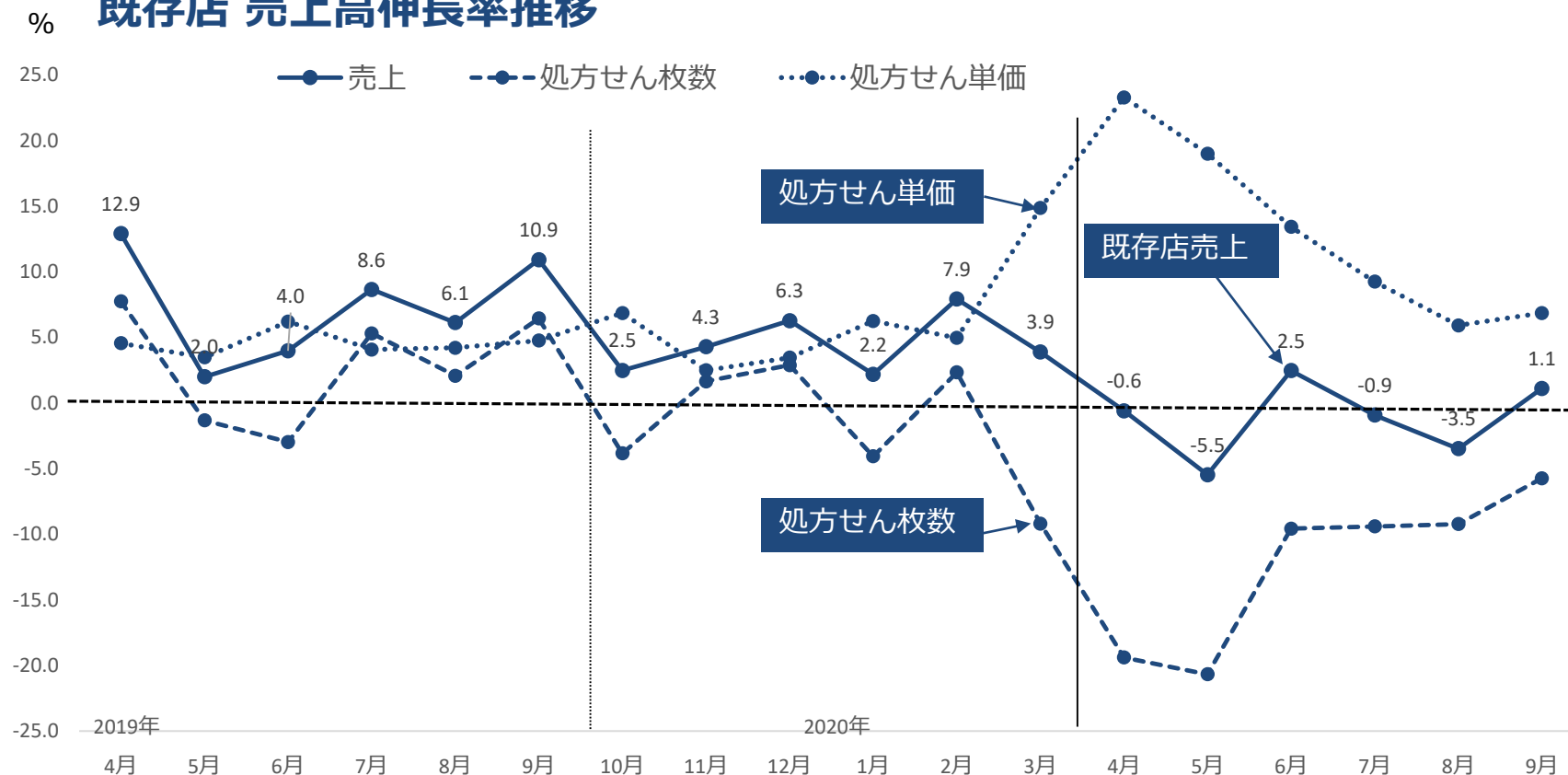
ドラッグストア既存店 立地別売上高伸長率推移



調剤事業 売上高

▶コロナ影響により、処方せん枚数の大幅減、処方せん単価大幅増が続くが、徐々に収束

既存店 売上高伸長率推移



	2020年3月期 上期実績			2021年3月期 上期実績		
	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	57,236	30.6	106.5	53,723	30.8	93.9
うちOTC	26,094	14.0	101.6	21,574	12.4	82.7
うち調剤	31,141	16.7	110.9	32,148	18.4	103.2
化粧品	57,363	30.7	104.2	45,515	26.1	79.3
健康食品	5,510	3.0	98.2	4,601	2.6	83.5
衛生品	19,940	10.7	104.0	22,340	12.8	112.0
日用雑貨	26,143	14.0	104.7	28,295	16.2	108.2
食品	20,568	11.0	102.1	19,973	11.4	97.1
全店計	186,762	100.0	104.5	174,450	100.0	93.4
卸売	19,808	-	97.6	15,787	-	79.7
小計	206,571	-	103.8	190,237	-	92.1
介護	1,616	-	102.6	1,664	-	102.9
※セグメント間取引消去	-12	-	-	-11	-	-
全社計	208,175	-	103.8	191,889	-	92.2

■ ドラッグストア事業

- ・コロナ影響により、ヘルス&ビューティ（OTC医薬品・化粧品・健康食品）の構成比減少
ミックス悪化→商品・販促の標準化推進、販促コントロールによりカバー
- ・衛生品（マスク・消毒薬等）は構成比増加

■ 調剤事業

- ・M&A等の規模拡大施策により調剤売上構成比増加

■ 卸売

- ・取引先店舗数の減少

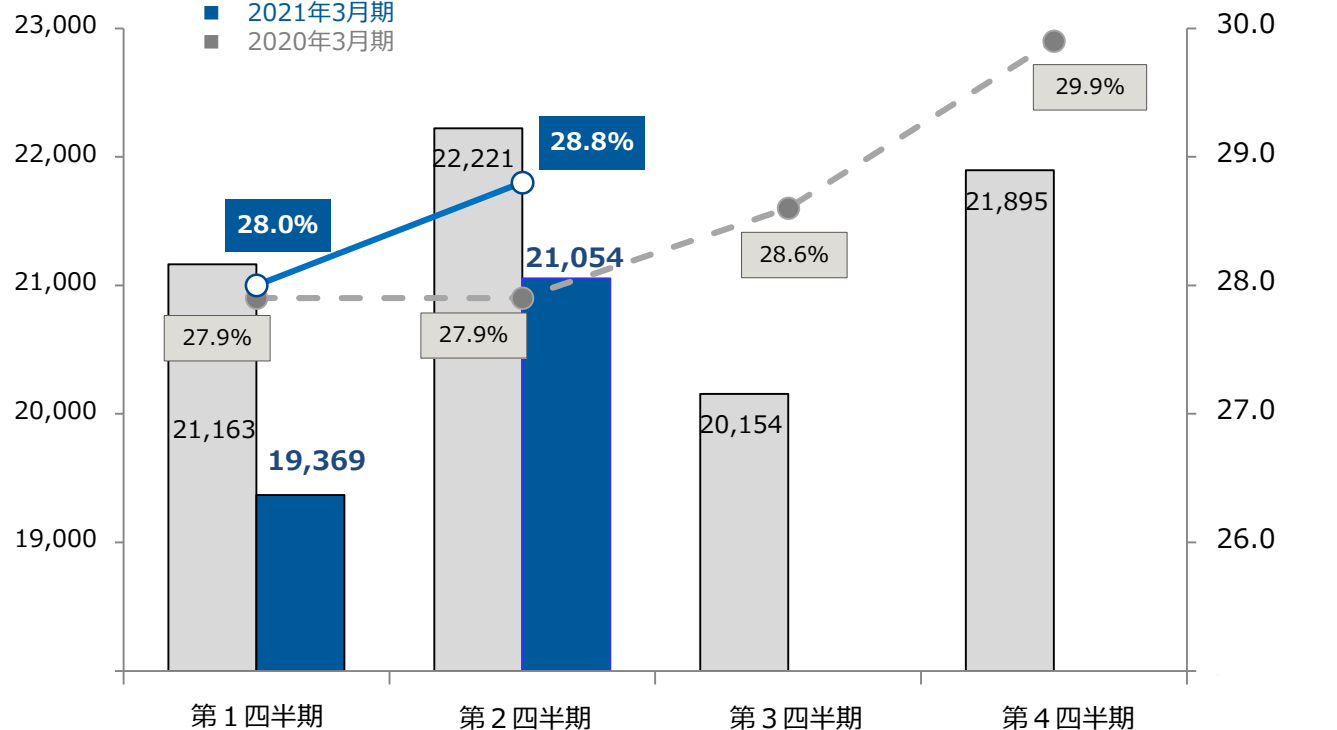
(単位：百万円)

▶ 売上総利益率は28.4%となり、利益率は前期比0.5ポイント改善

	2020年3月期上期	2021年3月期上期	前期比	増減
売上	155,620	142,301	91.4%	-13,319
売上総利益額	43,384	40,423	93.2%	-2,961
売上総利益率	27.9%	28.4%	-	+0.5ポイント

売上総利益額
(単位：百万円)

■ 2021年3月期
■ 2020年3月期



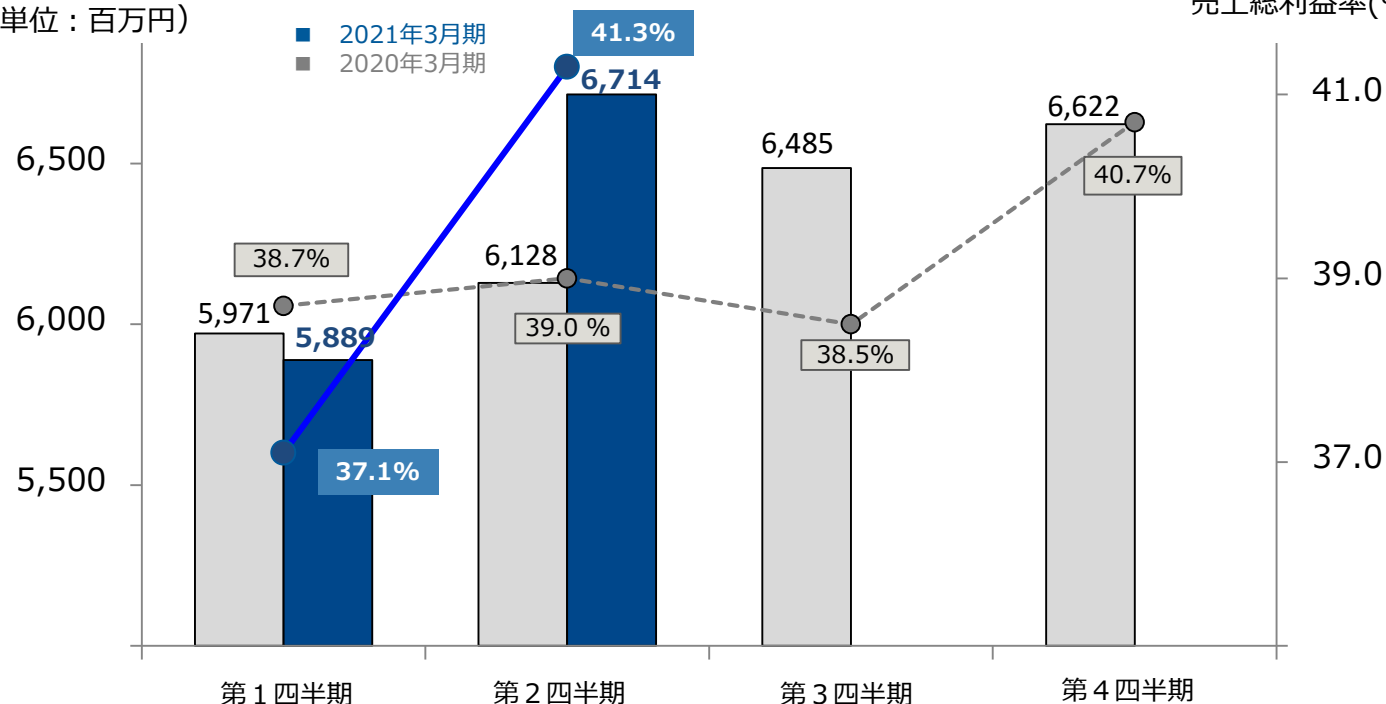
(単位：百万円)

▶ コロナ禍、薬価・診療報酬改定下でも、売上総利益は金額ベースで前期比104.2%

	2020年3月期上期	2021年3月期上期	前期比	増減
売上	31,141	32,148	103.2%	+1,007
売上総利益額	12,100	12,603	104.2%	+503
売上総利益率	38.9%	39.2%	-	+0.3ポイント

売上総利益額
(単位：百万円)

売上総利益率(%)



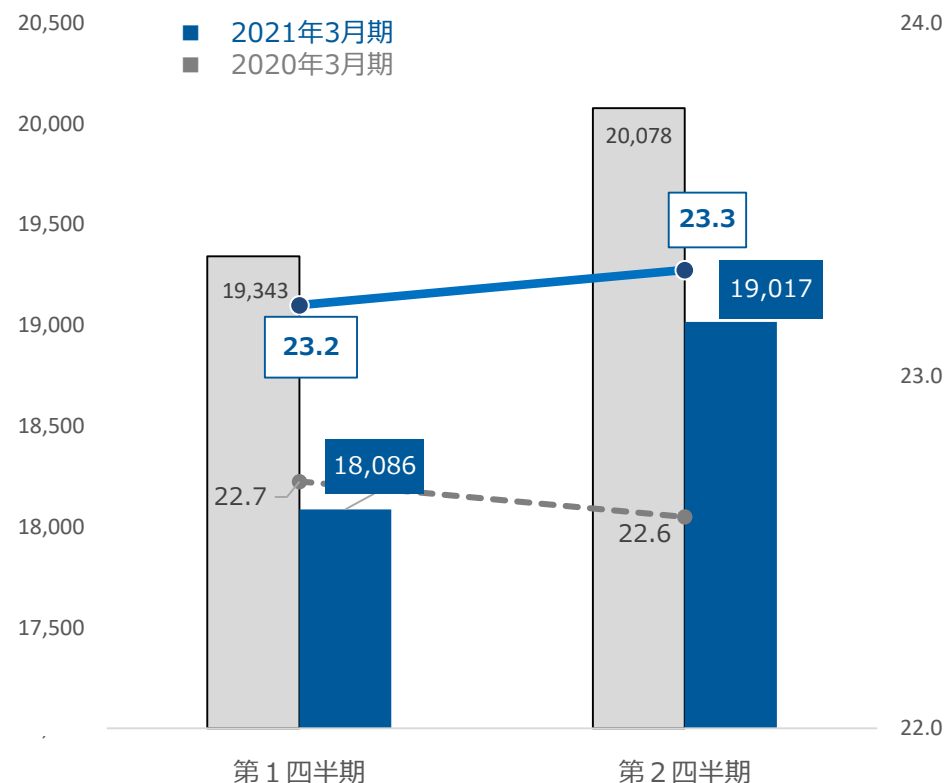
- ▶ 既存店 ココカラファインヘルスケア(ドラッグストア・調剤)
・コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロールし販管費大幅圧縮

(単位：百万円)

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	増減額	前期比 (%)
販売管理費合計	39,421 (22.6%)	37,104 (23.2%)	-2,317	94.1
人件費	19,575 (11.2%)	19,083 (12.0%)	-493	97.5
賃借料	11,563 (6.6%)	11,101 (7.0%)	-462	96.0
営業費	2,328 (1.3%)	1,852 (1.2%)	-476	79.5
水道光熱費	1,580 (0.9%)	1,402 (0.9%)	-178	88.7
減価償却費	1,380 (0.8%)	1,199 (0.8%)	-181	86.9
その他	2,994 (1.7%)	2,467 (1.5%)	-527	82.4

販売管理費額
(単位：百万円)

販売管理費率
(%)

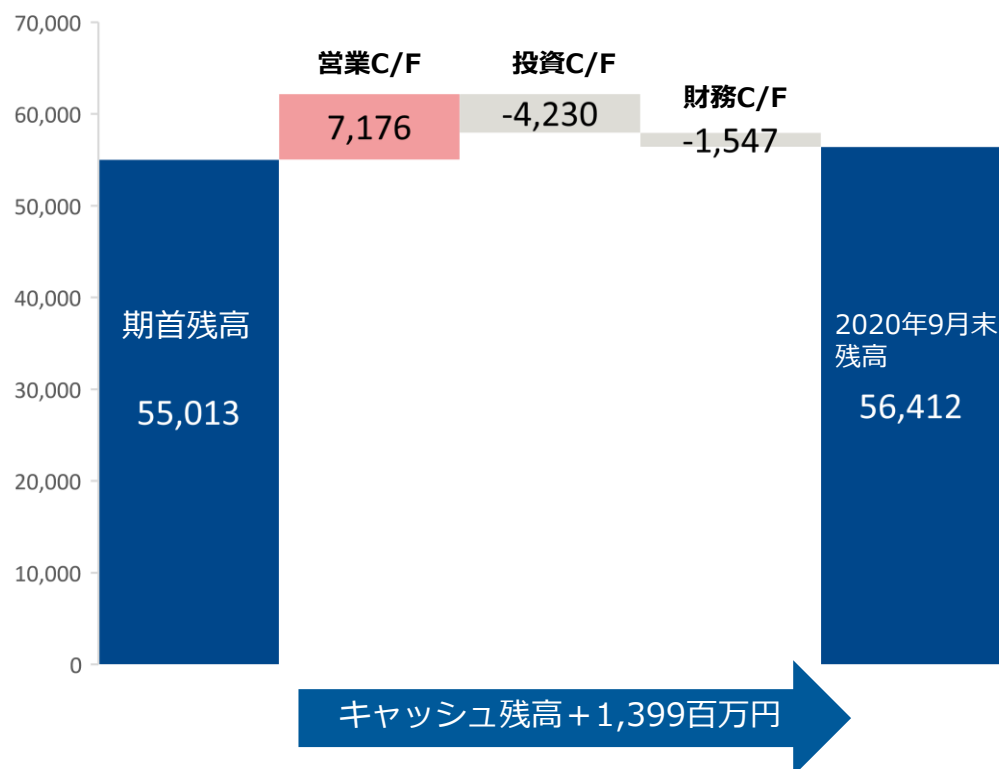


(単位：百万円)



2021年3月期上期

(単位：百万円)



(単位：百万円)

営業キャッシュフロー

商品統合関連費用	4,343
売上債権の増減額（△は増加）	2,998
減価償却費及びその他の償却費	1,962
税金等調整前四半期純利益	1,956
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,173
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,035
法人税等の支払額	△2,461

投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	△1,641
敷金及び保証金の差入れによる支出	△869
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△848
事業譲渡による支出	△654
無形固定資産の取得による支出	△467

財務キャッシュフロー

配当金の支払い額	△1,513
----------	--------

重点施策

- ITを活用した顧客戦略
- 調剤事業におけるITの活用

ココカラクラブカードと2つのアプリによる顧客数増大

ココカラクラブカード

ドラッグストア

調剤薬局



稼働会員数

2020年3月末

734万人

⇒

2020年9月末

709万人

会員売上比率

75.3%

⇒

76.2%

ココカラ公式アプリ

ドラッグストア

調剤薬局



累計ダウンロード数

2020年3月末

199万件

⇒

2020年9月末

258万件

マイ店舗登録数

138万件

⇒

172万件

<マイ店舗登録機能>

- ・店舗独自のお買い物情報が見られる
クーポン・チラシ・お知らせ
- ・登録店舗の商品在庫がわかる

お薬手帳アプリ

調剤薬局



累計ダウンロード数

2020年3月末

23.0万件

⇒

2020年9月末

28.1万件

処方せん事前送信件数

2020年3月末
(月間)

2.3万件

⇒

2020年9月末
(月間)

2.4万件

<処方せん事前送信機能>

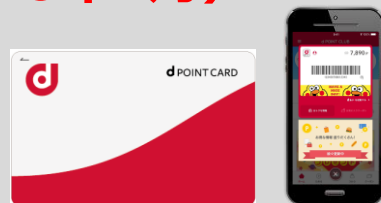
- ・医療機関で処方せんを受け取った
段階で調剤の予約ができる
⇒ 全処方せんの5.1%に

顧客の固定化

1to1
マーケ
ティング

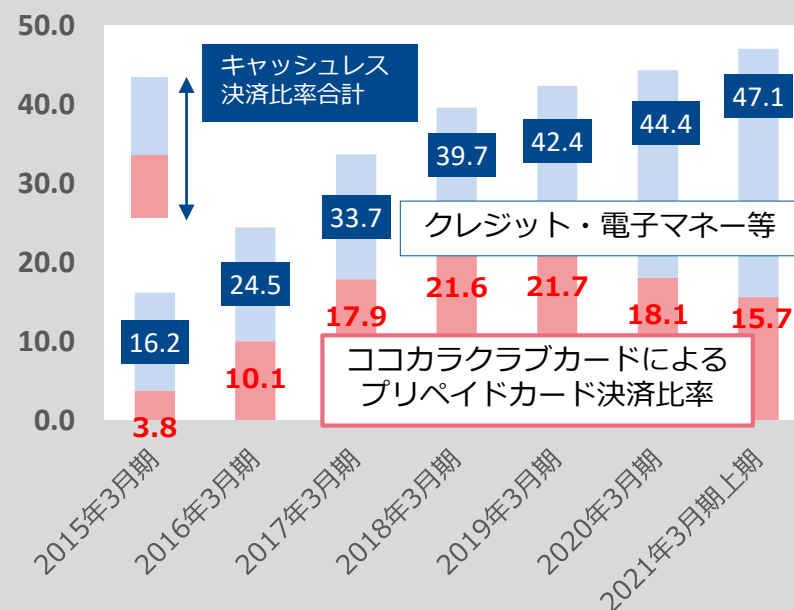
共通ポイントサービスの導入

- ・ 楽天ポイントカード（2019年10月）
- ・ **dポイント（2020年7月）**



多様な決済方法への対応

(単位：％) 物販に占めるキャッシュレス決済比率推移



EC購入商品の店舗受け取りサービスの対象店舗拡大

2020年7月
全国1,000店舗
以上に拡大

2020年10月
調剤専門店も対象となり
対象店舗は 1,265店舗に



ネットで注文、
店舗で受け取り

全国の対象店舗で**送料無料**

1,980円(税込)以上のお買い上げで、
店舗受取サービスをご利用いただけます。

統一調剤システム（レセコン・電子薬歴）活用による生産性向上

- ・仕様統一によるオペレーションの一本化
- ・セントラルコントロールによるデータ管理・分析の迅速化
- ・簡易同期できるタブレット端末を在宅調剤で活用
看護・介護等に携わる多職種連携強化

→ 薬剤師一人あたりの処方せん処理枚数の向上

オンライン服薬指導

オンライン服薬指導の積極導入

+

郵送などによるお薬のお渡し

↓

- ・新型コロナウイルス感染リスク抑制
- ・受診控えへの対応



2021年3月期 見通し

ご参考

		2020年3月期 実績		2021年3月期 上期実績		2021年3月期 通期修正計画		2021年3月期 期初計画	
			内調剤 取扱店		内調剤 取扱店		内調剤 取扱店		内調剤 取扱店
出店※	ドラッグストア	+29	+7	+21	+4	※ +51	+12	+65	+7
	調剤専門店	+19	+19	+11	+11	※ +91	+91	+17	+17
		+48	+26	+32	+15	+142	+103	+82	+24
退店	ドラッグストア	- 54	- 1	-21	-	-29	-	- 30	-
	調剤専門店	- 3	- 3	-2	-2	-2	-2	-	-
		-57	- 4	-23	-2	-31	-2	-30	-
業態 変更	ドラッグストア	-2	-2	-	-	-	-	-	-
	調剤専門店	+2	+2	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
期末 店舗	ドラッグストア	1,145	114	1,145	118	1,167	126	1,180	121
	調剤専門店	200	200	209	209	289	289	217	217
		1,345	314	1,354	327	1,456	415	1,397	338
改装店舗数 (看板変更・小改装含む)		78		18		42		153	
(内500万円以上)		34		4		9		16	

※ CFIZによる出店23店舗とフタツカHDによる出店70店舗を含む

(単位：百万円)

ご参考

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 上期実績	2021年3月期 修正計画	2021年3月期 期初計画
設備投資	9,703	2,868	※9,768	13,500
合計	12,795	3,190	10,817	14,090
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,270	1,121	6,400	9,100
減価償却	4,347	1,962	3,944	4,624
のれん償却	178	107	473	366

※フタツカホールディングスに関する設備投資は含めておりません

通期業績予想の修正

通期 経常利益

期初計画 160億円 → **修正計画165億円**

① 上期業績変動（期初計画比上振れ）

上期 経常利益

期初計画 32億円 → **実績 65億円**

② 下期の見通し（新型コロナウイルス影響の見直し）

下期 経常利益

期初計画 128億円 → **修正計画99億円**

期初計画の前提

新型コロナウイルス感染拡大の影響が
上期まで継続し、3Qに徐々に回復する

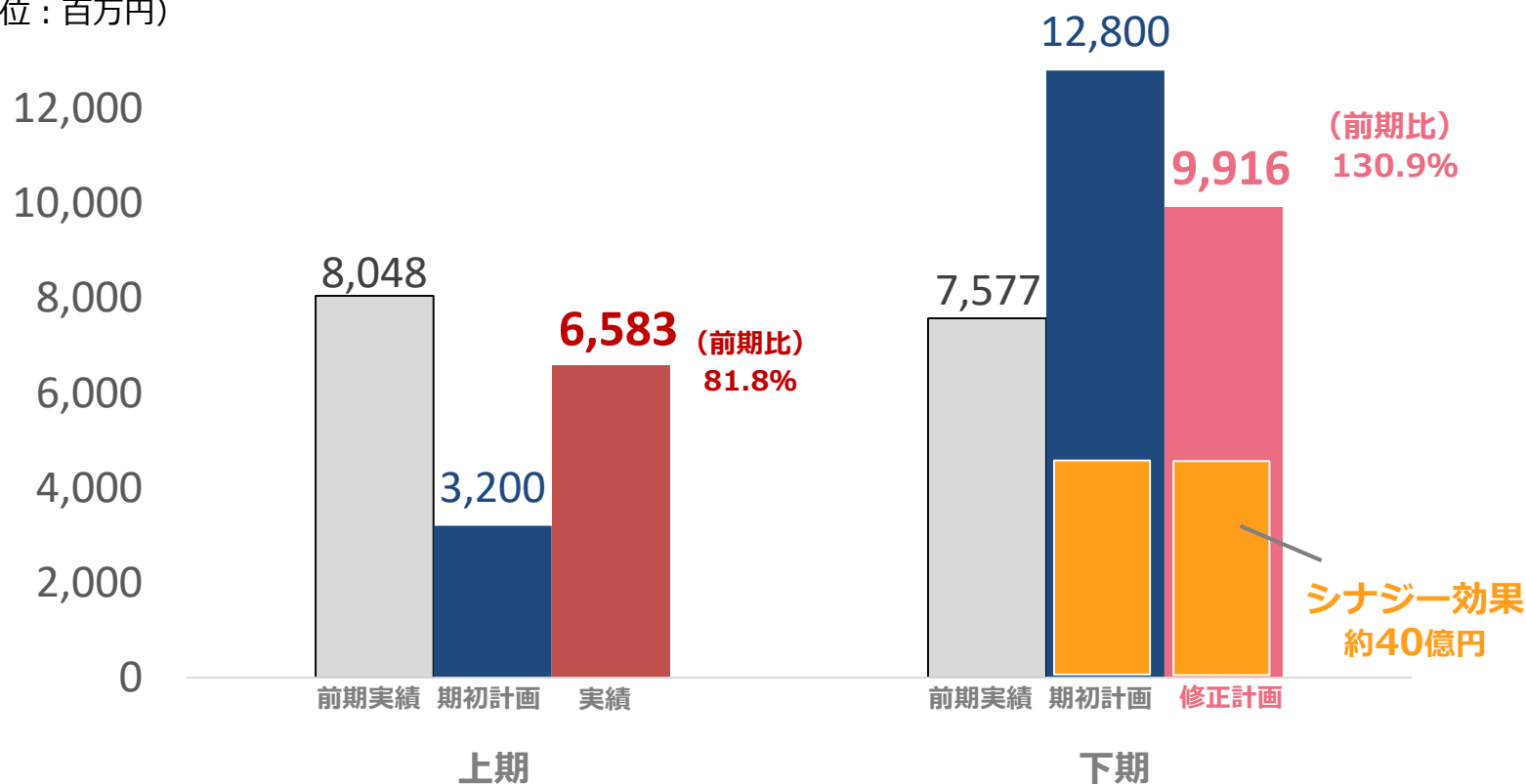


修正計画の前提

新型コロナウイルス感染症の再拡大への
懸念など引き続き不透明な状況がつづく

【経常利益】 半期ごとの経常利益計画

(単位：百万円)



新型コロナウイルス感染拡大の影響 継続

マツモトキヨシHDとの
資本業務提携によるシナジー効果 +約40億円

連結業績の修正計画（前期比）

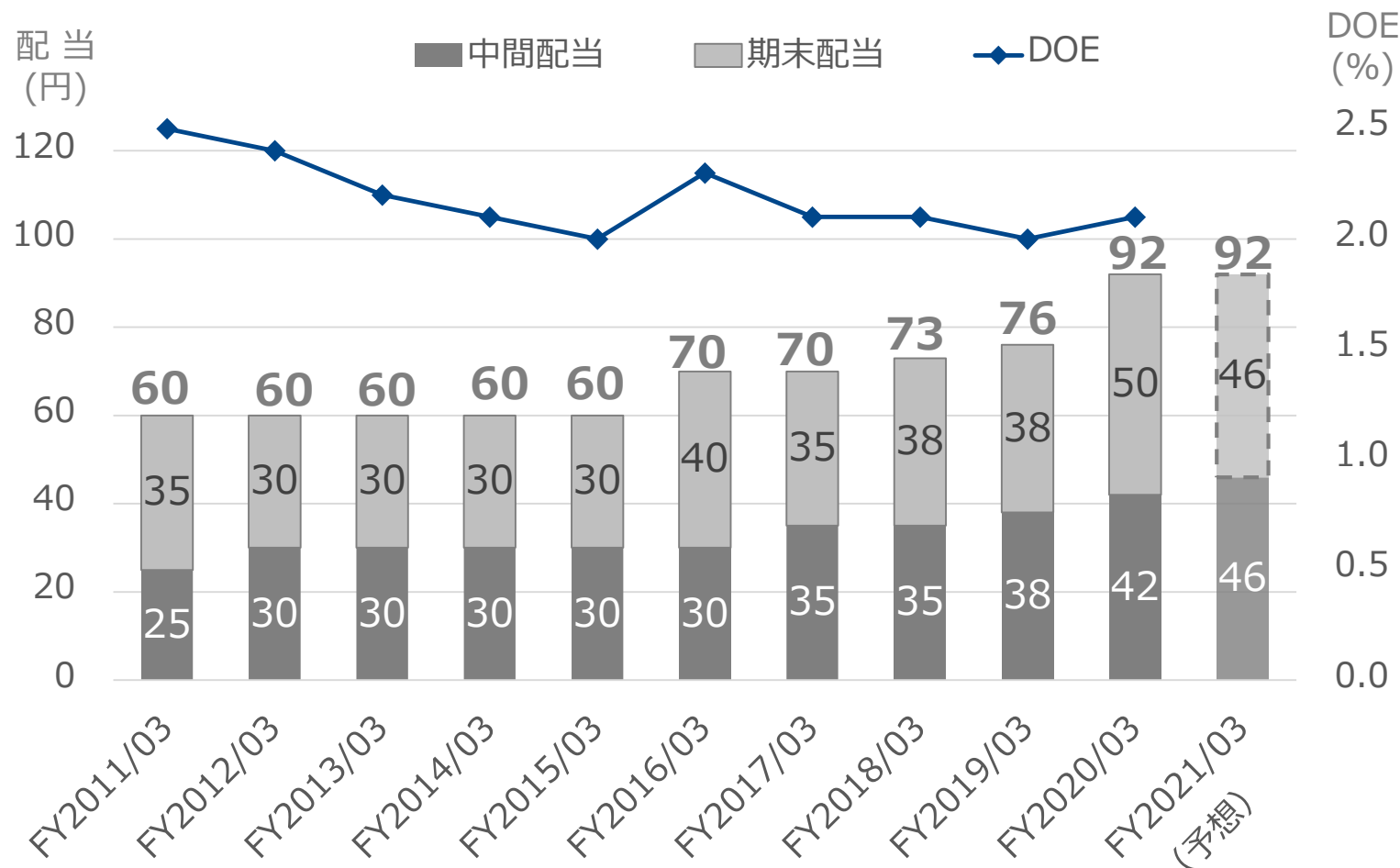
上期		下期					通期				
2021年3月期上期実績		2020年3月期下期実績		2021年3月期下期修正計画 (11月12日発表)			2020年3月期通期実績		2021年3月期通期修正計画 (11月12日発表)		
	百万円 (構成比)	百万円 (構成比)	前期比	百万円 (構成比)	前期比	増減	百万円 (構成比)	前期比	百万円 (構成比)	前期比	増減
売上高	191,889	195,699	97.9	189,710	96.9	-5,989	403,875	100.8	381,600	94.5	-22,275
ドラッグストア・調剤	174,450	176,857	98.6	186,087	105.2	+9,229	363,620	101.5	360,538	99.2	-3,082
卸売・介護	17,439	18,841	91.7	3,395	18.0	-15,446	40,254	94.9	20,835	51.8	-19,419
売上総利益	53,705 (28.0%)	55,850 (28.5%)	101.4	61,394 (32.4%)	109.9	+5,544	112,061 (27.7%)	103.5	115,100 (30.2%)	102.7	+3,039
販売管理費	48,209 (25.1%)	49,375 (25.2%)	103.1	52,690 (27.8%)	106.7	+3,315	98,724 (24.4%)	103.5	100,900 (26.4%)	102.2	+2,176
営業利益	5,495 (2.9%)	6,474 (3.3%)	89.8	8,704 (4.6%)	134.4	+2,230	13,336 (3.3%)	103.3	14,200 (3.7%)	106.5	+864
経常利益	6,583 (3.4%)	7,577 (3.9%)	90.3	9,916 (5.2%)	130.9	+2,339	15,626 (3.9%)	102.6	16,500 (4.3%)	105.6	+874
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,121 (0.6%)	3,252 (1.7%)	62.6	5,278 (2.8%)	162.3	+2,026	8,270 (2.0%)	90.3	6,400 (1.8%)	77.4	-1,870

上期	
2021年3月期上期実績	
	百万円 (構成比)
売上高	191,889
ドラッグストア・調剤	174,450
卸売・介護	17,439
売上総利益	53,705 (28.0%)
販売管理費	48,209 (25.1%)
営業利益	5,495 (2.9%)
経常利益	6,583 (3.4%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,121 (0.6%)

下期			
期初計画	2021年3月期下期修正計画 (11月12日発表)		
百万円 (構成比)	百万円 (構成比)	期初 計画比	増減
195,300	189,710	97.1	-5,590
191,937	186,087	97.0	-5,850
3,363	3,395	101.0	+32
65,600 (33.6%)	61,394 (32.4%)	93.6	-4,206
53,800 (27.5%)	52,690 (27.8%)	97.9	-1,110
11,800 (6.0%)	8,704 (4.6%)	73.8	-3,096
12,800 (6.6%)	9,916 (5.2%)	77.5	-2,884
7,400 (3.8%)	5,278 (2.8%)	71.3	-2,122

通期			
期初計画	2021年3月期通期修正計画 (11月12日発表)		
百万円 (構成比)	百万円 (構成比)	期初 計画比	増減
387,900	381,600	98.4	-6,300
367,939	360,538	98.0	-7,401
19,961	20,835	104.4	+874
119,600 (30.8%)	115,100 (30.2%)	96.2	-4,500
105,700 (27.2%)	100,900 (26.4%)	95.5	-4,800
13,900 (3.6%)	14,200 (3.7%)	102.2	+300
16,000 (4.1%)	16,500 (4.3%)	103.1	+500
9,100 (2.3%)	6,400 (1.8%)	70.3	-2,700

**2021年3月期
配当予想（年間）： 92円**



お問い合わせ

株式会社ココカラファイン

総務部コーポレートリレーションチーム

TEL: 045-548-5937

<https://corp.cocokarafine.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。